

国語

現代の国語・言語文化・論理国語・
文学国語・古典探究

第一問

a	慈	b	規範	c	利潤	d	尊厳	e	委
---	---	---	----	---	----	---	----	---	---

問二

受託を希望する者は贈り物をもつて何年もラクダの所有者の元へ通い、誠実さが伝わるといって人間関係が築かれ、メスの仔ラクダが信託されるという過程。	(以上七十字)
---	---------

問三

メスがラクダは預託者のもののでありつづ、所有者を起点者が他に二回は、三回と信託できるとき、所有者を起点者が何重にも連続する関係にあること。	(以上七十字)
---	---------

問四

自分のラクダを多くの他者に信託しておくことで、自らが飼育するラクダが敵の襲撃や早魘、疫病などで全滅した場合でも、信託しておいたラクダを元に家畜群を再構築することができる点。

問五

自助努力できることが、神が自らのうちに働きかけていることの証であり、それを通じて、自らが神の恩恵に浴していることを確認することができるから。

問六

他人の助け、決できない

問七

当事者同士で争わず、適切な人びとに訴えて問題の解決を委ねること。

問八

近	代	資本主義社会において、勤勉で禁欲的な態度で生活
活	し、	自助努力に依って、自ら主体性
自	明の	ことと考えて、いるが、他人への援助の要請によつ
て	人	間関係の構築を怠り
は	問	題を解決できない
て	個	人の主体性を回復しようとする

(以上百五十字)

第二問

問一

① 完了の助動詞「たり」の連体形の一部	② ヤ行下二段活用動詞「おぼゆ」の連体形の活用語尾の一部	③ ク活用形容詞「よし」の連体形の活用語尾の一部
---------------------	------------------------------	--------------------------

問二

ア 「この歌はうまく詠んでいます」と思うのである。
イ 心のないものに心を持たせるのが歌の常であるので、
ウ 白く降り積もった雪で夕方になったことも知ることができないので、

問二
 工 渡れないでいる情趣があるのである。
 オ 今は待ったりするまいと思うわが身であるけれど

問三
 雪に人の足跡がないというだけでなく、雲の足跡がないという意味にもとれるから。

問四
 エ

問五
 1 古今和歌集
 2 伝えたい心情をことばで表現しきれていない歌。

問六
 趣 一 さていかにせん。の一句を詠み残したことにより、情
 深く感じられる。
 (以上四十字)

問七
 ものごとをはつきり詠み表さないことよって、その奥深くにあるものを感じ取らせる歌。
 すべての心情を表さず、句を詠み残すことよって言外の風情を感じさせる歌。

第三問

問一
 a すでに b つひに c けだし d ひそかに e つひに

問二
 B 日本語訳 そのうえどうして金銭のことを言いましたか、いや決して言いません。
 A 書き下し文 復た尋ぬべからず。
 日本語訳 もう二度と妻をさがすことはできなかつた。
 書き下し文 尚ほ敢へて銭を言はんや。

問三
 西安の長官の宴会で出されたスッポン料理は、柔らかくて旨い部位を用い、黒皮をすつかり取って、真四角に切ったものであり、いなくなった妻の得意料理とそっくりだったから。

問四
 ウ

問五
 ア

問六
 b ↓ g ↓ a ↓ f ↓ e ↓ c ↓ d

問七

夫	氣	西
の	づ	安
元	き	の
に	、	長
返	こ	官
し	っ	が
た	そ	、
こ	り	側
と	引	室
。	き	と
	合	して
	わ	買
	せ	っ
	、	た
	金	女
	銭	性
	の	が
	こ	王
	と	従
	は	事
	不	の
	問	妻
	に	だ
	付	と
	し	

 (以上六十字)